

総合特別区域評価・調査検討会における評価結果の概要(令和3年度)

2. 分野別状況(1)国際戦略総合特区

	総合 評価 (ⅠとⅡとⅢ を1:1:2の割 合で計算)	Ⅰ 目標に向けた取組 の進捗	Ⅱ 支援措置の活用と 地域独自の取組の 状況	Ⅲ 取組全体にわたる 事業の進捗と政策 課題の解決	総合評価に係る専門家所見(主なもの)
京浜臨海部ライフ イノベーション 国際戦略総合特区 (神奈川県、横浜市、 川崎市)	4.8	5 <u>進捗度</u> ・特区事業の実施 によるライフイノ ベーション分野に おける経済効果 264% ・個別化・予防医 療及び未病改善 などを実現するた めのデータサイエ ンスの活用等に 取り組む事業数 150% ・医薬品・医療機 器・再生医療等製 品等の早期実用 化に向けた取組 件数 113% 等	4.2 <u>財政支援等</u> ・地域 イノベーション 戦略支援 プログラム ・総合特区設備 等投資促進税制 等 <u>地域独自の取組</u> ・産業集積促進 奨励金 等	5	・成果の現出を見ればほぼ文句の出ないものであると 評価できる。なお、臨海部での立地と言うことで、もっと 地の利を活かすことができると思われる。 ・投資額や就業者の確実な増加とともに、データサイエ ンス事業の推進も着実に進められており、高く評価され る。規制緩和の取り組みの意向も成果につながることを 期待する。 ・高い進捗度から十分な成果が期待される。日本国内 における「グローバル企業による革新的医薬品・医療機 器の開発・製造と健康関連産業の創出」は重要課題で あり、本事業による発展を期待している。

総合特別区域評価・調査検討会における評価結果の概要(令和3年度)

2. 分野別状況(1)国際戦略総合特区

	総合評価 (ⅠとⅡとⅢを1:1:2の割合で計算)	Ⅰ 目標に向けた取組の進捗	Ⅱ 支援措置の活用と地域独自の取組の状況	Ⅲ 取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決	総合評価に係る専門家所見(主なもの)
関西イノベーション国際戦略総合特区 (京都府、大阪府、兵庫県、京都市、大阪市、神戸市)	4.6	<u>進捗度</u> ・研究段階(入口)における効果 119% ・承認審査段階(中間)における効果 158% ・製品化・実用化(出口)における効果 112% 等	<u>規制の特例等</u> ・スマートコミュニティオープンイノベーションセンター機能の整備 等 <u>財政支援等</u> ・総合特区設備等投資促進税制 ・総合特区支援利子補給金 等 <u>地域独自の取組</u> ・次世代地域産業推進事業 等	4.5	・本事業への参加各都市が十分な成果を上げていると考えられます。 ・財政、金融の取り組みについて継続的な活用について具体化することを求める。

総合特別区域評価・調査検討会における評価結果の概要(令和3年度)

2. 分野別状況(1)国際戦略総合特区

	総合 評価 (ⅠとⅡとⅢ を1:1:2の割 合で計算)	Ⅰ 目標に向けた取組 の進捗	Ⅱ 支援措置の活用と 地域独自の取組の 状況	Ⅲ 取組全体にわたる 事業の進捗と政策 課題の解決	総合評価に係る専門家所見(主なもの)
アジアヘッドクォーター 特区 (東京都)	4.6	進捗度 ・外国企業のアジ ア統括拠点及び 研究開発拠点の 誘致数 100% ・外国企業と都内 企業との引き合 わせ件数 128% ・金融系外国企業 の誘致数 150% 等	規制の特例等 ・ビジネス ジェットの利用 手続簡略化 等 財政支援等 ・総合特区支援 利子補給金 地域独自の取組 ・アジアヘッド クォーター特区 拠点設立補助金 ・ビジネス コンシェルジュ 事業 等	4.3	・本特区は今まで良い成果を上げてきたと思うが、近年 はその成果の現出が鈍化しているような印象を受ける。 東京は日本の中で突出して条件に恵まれているので、 その恵まれた環境を活かして成果の現出をリードして欲 しい。 ・着実な事業の進展が見られることは高く評価される。 コロナ禍からの経済回復の中で規制緩和等の積極的な 活用を期待する。 ・東京という地理的なアドバンテージを活かして、コロナ 禍下においても高い成果を上げていると思う。しかしな がら、もはや東京に課せられた課題は東京エリアのみ にとどまらず、他の地域(ひいては日本国内)への拡充 を視野に入れてほしい。

総合特別区域評価・調査検討会における評価結果の概要(令和3年度)

2. 分野別状況(1)国際戦略総合特区

	総合評価 (ⅠとⅡとⅢを1:1:2の割合で計算)	Ⅰ 目標に向けた取組の進捗	Ⅱ 支援措置の活用と地域独自の取組の状況	Ⅲ 取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決	総合評価に係る専門家所見(主なもの)
グリーンアジア国際戦略総合特区 (福岡県、北九州市、福岡市)	4	3.5 <u>進捗度</u> ・当地域が貢献する環境を軸とした産業の年間売上高 76% ・特区に係る支援措置を活用して設備投資を行った企業数 88%	4.5 <u>規制の特例等</u> ・圧縮水素運送自動車複合容器・附属品に対する刻印方式の特例の創設等 <u>財政支援等</u> ・総合特区推進調整費 ・総合特区設備等投資促進税制等 <u>地域独自の取組</u> ・福岡県北部九州自動車産業アジア先進生産拠点推進事業等	4	・コロナ禍の影響を直接受けたものと考えられるが、その割には頑張ったのではないかと評価される。環境配慮型自動車など半導体環境が好転すればより伸びが大きいと思われる。 コロナ禍の事業環境の厳しい中で、財政。金融制度へ積極的な取り組みが高く評価される。 ・コロナ禍にもかかわらず良好な実績を上げていると思われる。 ・外的要因(COVID、半導体不足など)による進捗率の若干の低下が認められるが、全体的な進捗は良好と考えられる。水素エネルギー事業の普及を期待する。

総合特別区域評価・調査検討会における評価結果の概要(令和3年度)

2. 分野別状況(1)国際戦略総合特区

	総合評価 (ⅠとⅡとⅢを1:1:2の割合で計算)	Ⅰ 目標に向けた取組の進捗	Ⅱ 支援措置の活用と地域独自の取組の状況	Ⅲ 取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決	総合評価に係る専門家所見(主なもの)
つくば国際戦略総合特区 (茨城県、つくば市、 国立大学法人筑波大学)	3.8	3.7 <u>進捗度</u> ・連携企業数 108% ・事業・産業創出 (起業、ライセンス アウト、製品化 等) 73% ・事業化に伴う株 式公開(IPO)件 数 定性評価	3.4 <u>規制の特例等</u> ・搭乗型移動 支援ロボットの 規制緩和 等 <u>地域独自の取組</u> ・ロボットスーツ 治験事業 等	4.0	・新計画の初年度であることに加えコロナ禍の影響もあり、あまり進捗が芳しくない項目があるものの、当該分野の将来性を考えるとある程度肯定的な評価ができるのではないかと考えた。また、当該特区内にある国際輸送インフラ(成田空港、茨城港)あるいは国内輸送インフラ(茨城空港)は以降の転換を考えるともっと積極的に関わっていくように調整することが望ましいと考える。 ・BNCTの取り組みを進めて成果につなげていること、ゲノム編集作物の商品化等、具体的な成果につなげていることは高く評価される。金融制度、税制等積極的な事業展開を一層展開することを期待する。 ・BNCTは内外から注目・期待される医療技術にて、今後の実用化に向けての発展を期待する。 ・TGIの仕組みは、他地域・領域におけるプロジェクト管理にも大変参考になるものと思われる。

総合特別区域評価・調査検討会における評価結果の概要(令和3年度)

2. 分野別状況(1)国際戦略総合特区

	総合 評価 (ⅠとⅡとⅢ を1:1:2の割 合で計算)	Ⅰ 目標に向けた取組 の進捗	Ⅱ 支援措置の活用と 地域独自の取組の 状況	Ⅲ 取組全体にわたる 事業の進捗と政策 課題の解決	総合評価に係る専門家所見(主なもの)
アジアNo.1航空宇宙産業 クラスター形成特区 (愛知県、岐阜県、 三重県、長野県、 静岡県、名古屋市 等)	3.7	<u>進捗度</u> ・中部地域に おける航空宇宙 関連の工場等 の新增設件数 140% ・中部地域に おける航空宇宙 産業の生産高 62% ・中部地域に おける航空機 ・部品の生産高 69% 等	<u>規制の特例等</u> ・工場等新增設 促進事業 等 <u>財政支援等</u> ・総合特区設備 等投資促進税制 ・総合特区支援 利子補給金 等 <u>地域独自の取組</u> ・21世紀高度 先端産業立地 補助金 等	3.7	・着実な事業の具体化を進めていると判断されるが、進 捗指標の更新による評価が必要と考える。 ・プロジェクトそのもののパフォーマンス・戦略よりも、外 的要因(新型コロナウイルス感染症)による影響が大きいと考え られ、本来の評価が難しい局面にあると思われる。 ・工場等の新增設が実績を上げているが、これに連動 する生産高、輸出額、および雇用者数に関する経過に ついての情報共有(可能な範囲で)が望まれる。 ・航空機産業はコロナ禍が長引いた影響を直接受けた 産業の代表であるので、R3年度の評価値が大幅に低 い、ないしは評価不能であるのは致し方ないと思われ る。MRJもほぼ再起はないと考えられるので、今後の方 針としてはボーイング社関係が全てと言うことになるう かと思われる。これに加えて国内独自で進めている宇 宙産業との連携に軸足も移ることも考えられる。